

## 三次市教育委員会会議録

- 1 日 時 令和5年8月21日(月)  
開会 午前10時00分  
閉会 午後 4時 5分
  
- 2 会 場 三次市役所本館 6階601会議室
  
- 3 出席委員 教 育 長 迫 田 隆 範  
委 員 小 根 森 直 子  
委 員 深 水 顕 真  
委 員 井 岡 直 美  
委 員 藤 井 皇 治 郎
  
- 4 出席職員 教 育 次 長 宮 脇 有 子  
学校教育課長 中 村 徳 子  
教育委員会事務局付課長 藤 本 裕 佳 里  
文化と学びの課長 山 西 正 晃  
教育総務係長 阿 部 晶 子  
学校教育課主査 大 崎 友 子  
学校教育課主査 豊 永 政 男  
文化と学びの課主任 畝 岡 あ き
  
- 5 参 考 人 令和6年度使用小学校用教科用図書採択地区選定委員会
  
- 6 議事日程  
議案第30号 令和6年度使用小学校用教科用図書の採択について(公開)

文化と学びの課長 ただいまから教育委員会会議を開催する。

文化と学びの課長 本日の会議は全員出席のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第14条第3項の規定により本教育委員会会議が成立していることを確認する。それでは、以降の進行を教育長にお願いします。

迫田教育長 これから議事に移る。本日の議案第30号は教科書採択に係る議案である。これまで、本市教育委員会においては、委員の率直な意見交換を行うため、また中立性が不当に損なわれないようにするために、三次市教育委員会規則第14条第1項により非公開とし、後日、議事録を公開してきた。一方で、令和5年3月31日付けの文部科学省初等中等教育局長からの通知「教科書採択における公正確保の徹底等について」において、「教科書採択は、これらの採択権者の判断と責任により、綿密な調査研究を踏まえた上で、公正性・透明性に疑念を生じさせることのないよう適切に行われることが必要であることはもとより、採択権者である教育委員会は、採択結果やその理由について、保護者や地域住民等に対して説明責任を果たすことが重要となる。」と示されている。また、同通知中の「教科書採択方法の改善について」において、「教科書採択に係る教育委員会の会議を行うに際しては、静ひつな審議環境の確保等の観点から検討を行い、会議の公開・非公開を適切に判断するとともに、傍聴に関するルールを明確に定めるなど、適切な審議環境の確保に努めること。」とされている。このことから、本日の会議については、「静ひつな審議環境の確保」を前提に、三次市教育委員会傍聴規則に基づいて、傍聴を許可すること、また、傍聴に関しては、会議の録音及び写真撮影を含めた録画は認めないこととして、会議を公開したいと考える。

これについてご異議ないか。

委員一同 一異議なし

迫田教育長 それでは、議案第30号については公開とする。

本日の教育委員会会議へは傍聴の申し出がある。傍聴の申出者は、三次市教育委員会傍聴規則第2条の規定による傍聴の手続きを行っていると認め、三次市教育委員会会議規則第14条第1項の規定により傍聴を許可する。

一傍聴人入室一

迫田教育長 傍聴の方は、お渡ししている注意事項をよくお読みいただき、静粛に傍聴していただくようお願いする。

また、静ひつな審議環境を確保することや公正性確保の観点から、本会議の録音及び写真撮影を含めた録画については認めない。

迫田教育長 これから、議案第30号「令和6年度使用小学校用教科用図書の採択について」に入る。

本議案を審議するにあたり、参考人として、「令和6年度使用小学校用教科用図書採択地区選定委員会」3名の出席を許可したいと考える。

これについて、ご異議ないか。

委員一同 一異議なし一

迫田教育長 それでは、選定委員3名の入室を許可する。

一選定委員入室一

迫田教育長 参考人には、本日の会議において教科用図書採択に係る取組状況等について説明を行ってもらおう。

それでは、議案第30号 令和6年度使用小学校用教科用図書の採択について事務局からの説明を求める。

教育委員会事務局付課長 それでは、議案第30号について説明する。これは令和6年度に三次市内の小学校で使用する教科用図書について、選定委員からの答申を受けて審議し、採択するものである。選定委員会は、「三次市教科用図書採択地区の採択事務に関する規約」に基づき、調査員による教科書の専門的な調査研究を基に種目ごとに審議を行い、その結果について理由を付して答申を行う。これを受け、適正かつ公正な採択を行うものである。

審議に入る前に、三次市教科用図書採択地区選定委員会会長から、令和6年度三次市教科用図書採択地区の教科用図書の採択に係る意見についての答申書を教育長に手渡していただきたい。

会 長 一答申書手交一

教育委員会事務局付課長 それでは、答申に基づき審議をお願いします。なお、教科書採択に関わっては6月14日から6月29日において、教科書展示会を開催した。市民からは4件の意見をいただいている。その意見文を本日資料としてタブレットに掲載しているので、採択にあたっての参考にしていただきたい。

それでは、以降の進行を教育長をお願いします。

迫田教育長 それでは、会長からの答申を受け、令和6年度使用小学校用教科用図書採択地区教科書採択における経過報告の説明を求めます。

会 長 資料1をご覧ください。5月19日に教育委員会会議で「令和6年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書の三次市採択基本方針」を決定され、6月2日に三次市教科用図書採択地区選定委員会の選定委員が委嘱された。同日以下のような中身で会議を行った。6月14日から6月29日まで、三次市立図書館で展示会を行った。三次市教科用図書採択地区の教科書調査員は、7月20日を期限として報告書を提出した。調査員によって調査されたものを第2回の選定委員会で報告を受けた。今後、県、学校へ採択結果を通知していく。

迫田教育長 次に答申説明をお願いします。

選定委員 広島県の選定資料をご覧ください。1ページにある5点の観点「基礎・基本の定着」「主体的に学習に取り組む工夫」「内容の構成・配列・分量」「内容の表現・表記」「言語活動の充実」で調査されたものを選定委員会で協議し、結果を答申している。なお、教科用図書調査のための見本本の送付がなかった出版社もあり、その出版社については答申でも斜線を引いている。

今回の選定においては、三次市の児童生徒の実態、課題に応じた教科書はどれであるかということをお大前提にして審議を進めた。

答申のポイントが3点ある。

1点目は、三次市の子どもの実態にあった教科書であるかという点である。個人差への対応が必要であり、学力が低位の子どもに対する基礎・基本の定着、学力をさらに伸ばす取組として発展的な問題の掲載等があるか。主体的に学ぶ子どもへ、「やってみたい」と思える写真や課題がある

教科書，自主学習などが進んで行える工夫のある教科書。若手教員が増えている中，若手，ベテラン教員にとって課題発見・解決学習が行いやすい教科書であること。

2点目は，学習指導要領で求められていることに沿った教科書であるかという点。学習指導要領では，資質・能力の育成のために，各教科等の目標を「知識及び技能」「思考力，判断力，表現力等」「学びに向かう力」の3つの柱で整理された。その3つの力を育成できる教科書であるか。また，各教科の見方・考え方が明示されているか。

3点目は，三次市の施策と合っているか。例えば，「第2次三次市教育ビジョン」との兼ね合いはどうか。ICT機器の効果的な活用ができるものであるか。グローバル社会への対応，中学校との小中接続は意識されているか等を検討した。

迫田教育長 それでは，採択に移る。まず，国語から説明を求める。

選定委員 — 国語の説明 —

迫田教育長 質問，意見等あればお願いします。

小根森委員 A者は，内容バリエーションが多く，教材が豊富で，自主的な学習に即している。1年生の導入では，文字がたくさん出てくるが，子どもにとってはどうなのか。

選定委員 それぞれよさがある。絵が中心なものであれば，自由に発想させたい意図がある。この言葉は日常ではなかなか使わないものもあるが，言葉に触れながら学びをスタートすることができる。語彙については，巻末にそれぞれまとめて語彙を増やす工夫がある。

小根森委員 難しい言葉でも教育的意義はあるか。

選定委員 そうである。

深水委員 参考意見として，A者では，単元の切れ目が視覚的にはっきりしない気がする。B者では，教科書をパラパラめくって単元の切れ目が分かる。また，市民からのアンケートにもあるように，教科書が大きくなり，重くなっている。軽くする意味であれば上下の分冊もありではないか。A者のよいところは，日本語の特徴が外国語と比較して丁寧にある。これはB者では不十分である。また，語順の議論が簡単すぎる。さまざまな意見があること

をお知りおきいただきたい。

井岡委員 辞典の使い方を比較してみた。A者の二次元コードが分かりやすい。そこでつまづく、混乱する子が多い。ページ数でいうとC者やB者もあるが、二次元コードが分かりやすい。「言葉の宝箱」が語彙を増やすためにとてもよい。

藤井委員 3者ともいい。B者が見やすいと感じる。二次元コードや「言葉の宝箱」を含めると、完成度はA者がよいとも感じる。

迫田教育長 A者については、全体で語彙の獲得や言葉の着目がどの学年も丁寧。考えさせる手がかりが共通的に示されていて、本市の児童の根拠を持って表現する課題について、活用しやすい。C者は伝え合うことを大切にしている。全般的にA者の完成度の高さを感じた。

迫田教育長 他に委員から意見はあるか。

委員一同 一意見なし

迫田教育長 それでは採択に移る。国語は光村図書でよいか。

委員一同 一異議なし

迫田教育長 続いて、書写について説明を求める。

選定委員 一 書写の説明 一

迫田教育長 質問、意見等あればお願いします。

深水委員 二次元コードを電子黒板やタブレットなど、どのように活用することが多いか。また、書道のときにタブレットを置くスペースはあるか。

選定委員 指導者がタブレットを活用し、電子黒板で示すことが多く、児童は、個々の疑問など必要に応じてタブレットを補助的に活用することを想定している。ただ、書道のときには、机上にタブレットを置くスペースを十分確保するのは難しい。

井岡委員 A者は、書き順がコンパクトでわかりやすい。一方、B者は穂先が示されている。これは、毛筆ではとても大切である。

小根森委員 C者が左利きに対応している。A者では「働」という組立で、○の大きさを、空間の取り方を示しているのが分かりやすい。全体で見るとC者とA

者だが、国語と連動するのはA者である。

藤井委員 A者がよい。シンプルである。共通的にネコのキャラクターも出てきて、興味が持てる。

深水委員 A者がよい。特に「私の文字」のページがよい。書写は型にはまり、答えがあることが前提となりがちであるが、「自分の字なんだ」と感じられ、自由に書くことや個に応じた表現につながる。

迫田教育長 A者は全体的によく、1年生から3年生まで姿勢が掲載されている。鉛筆の持ち方との関連もあり、本市の児童への指導に活用することができる。二次元コードの数も多く、効果的に活用できる。

迫田教育長 他に意見はあるか。

委員一同 一意見なし

迫田教育長 それでは採択に移る。書写は光村図書でよいか。

委員一同 一異議なし

迫田教育長 続いて、社会について説明を求める。

選定委員 一 社会の説明 一

迫田教育長 質問、意見等あればお願いします。

迫田教育長 導入の問いを比較すると、A者は「私たちはどのようなところで買い物をしているのか」という具体的な問いがあり、B者は、「どのような店があるのか」、C者は、「どのような店があるのか」という一般的な問いとなっている。具体的な問いがあると児童が考えやすい。

選定委員 シンプルな問いとなっていることもめあてになりやすい。いろいろな疑問を集約して学習問題として単元を貫く問いへつながる。他者では、店の視点や客の視点に行く。B者は、「なぜたくさんのお客が来るのだろう」、C者では「売り上げを出すために」ということでめあてを設定している。

深水委員 A者で気になるのが、歴史の記述に一步踏み込んでいる。尖閣諸島の記述について、A者は「領土問題は存在しない」と力の強い書き方。同様に、日露戦争の記述、A者は「勝った」、他者は「終わった」「条約が結ばれた」とある。現場で、1冊の教科書を見たときに、いろんな見方を伝えること

ができるかどうか。

選定委員 歴史の解釈については、常々問題になり、どちらに寄ることは難しいが、指導者は教科書の記述に依ることが多いと考えられる。

深水委員 いろんな見方があるという視点を持って指導をしていただきたい。また、高校の教科書でもあったように、検定教科書であるからといって100%信頼とならず、現場の先生の指導力が問われてくると思う。また、A者は分冊になっているのがよい。

小根森委員 分冊になっているのがよい。子どもたちは、政治・国際は苦手である。小学校のうちから、内容も豊富でとてもよい。A者は、地図が正確であるのがよい。地図帳を見て学んでいるように、等高線の活用等もある。歴史については、いかに自分の興味の対象として見ることができるかという点で見たが、たくさんエピソードがある。子どもたちが興味を持って学習できる。B者では、具体的な地名ではない説明もあり、地理が難しい。また、A者では児童の近隣の地名が出ている。

井岡委員 A者の導入の地図は興味もてる。「つかむ、しらべる、まとめる」は、どの層の児童にとっても分かりやすい示し方である。

藤井委員 A者がよい。有名なキャラクターが出てきて、親近感も持てる。先生方が使いやすいよう配置されている。

迫田教育長 具体的な部分からの問いかけからの導入が子どもにとってよい。表や意見文にまとめるという言語活動の充実にこだわりをもっており、本市の児童にとってよい。また、自然災害にもマイ・タイムラインを取り入れている。A者がふさわしいと考える。

迫田教育長 他に意見はあるか。

委員一同 なし。

迫田教育長 それでは採択に移る。社会は東京書籍でよいか。

委員一同 ―異議なし―

迫田教育長 続いて、地図について説明を求める。

選定委員 ― 地図の説明 ―

迫田教育長 質問、意見等あればお願いします。



- 井岡委員 ページ数が大きく違い、広く見渡す地図が関係している。A者では、3年生の導入のときに興味をかきたてることができる。
- 小根森委員 同じ地図を見ても、A者の方が分かりやすい。子どもたちは、索引で地図を探すが、索引の文字の色分けがあり、分かりやすい。また、地図記号の説明もよい。
- 藤井委員 A者の地図帳がよい。学年をおってページがめくられるというのはシンプルでよい。
- 深水委員 索引の量がB者の方が豊富である。特に世界の部分はB者が厚い。ただ、あまり詰め込みすぎてもよくないため、意見が分かれるところである。社会科との関連だと、B者の方がよいとも思うが、本市が見開きページの切れ目にある。
- 迫田教育長 A者が分かりやすい。フォントに加え、網掛けで領土範囲も示している。社会への課題で言えば、情報をもとにつなぎ合わせて考えるということでも、地図マスターへの道なども設定され、計画的に入っている。ただ、使い方にもよる。
- 迫田教育長 他に意見はあるか。
- 委員一同 一意見なし
- 迫田教育長 それでは採択に移る。地図は帝国書院でよいか。
- 委員一同 一異議なし
- 迫田教育長 続いて、算数について説明を求める。
- 選定委員 一 算数の説明 一
- 迫田教育長 質問、意見等あればお願いします。
- 深水委員 A者の練習問題が多く、学びを深めていくのはよい。A者であれば、6年生のまとめが分冊になっているのがよく、中学への懸け橋となる。また、プログラミングの応用もある。分かりやすく、学びを深めやすい。B者の算数のお仕事インタビューで、携帯電話の位置情報での密集を調べるなど、応用場面などで広く使える。A者でも買い物などの場面設定はある。
- 小根森委員 C者がよく、いろんな考え方や解き方がある。特に、三次の子どもたちは図形が弱く、C者では図形の入り方で、図形は直線の交わり方で成り立つ

ているという説明がある。一方、A者では、広さの比較から入っている。考え方の柔軟性ではC者の方がよい。ただ、練習問題がたくさんあるのはA者が魅力的である。

井岡委員 A者は練習問題が多い。1年生の導入では他者がよいが、総合的に見るとA者がよい。見やすさはC者かと思う。

藤井委員 C者かA者かと考える。A者はSDGsも扱っているのがよい。

迫田教育長 いろいろ考え方はあるが、本市の子どもたちの実態でいくと、理解をし切れていない、もっとやりたいという子どもたちに合うのはA者がよい。6年生から中学校への懸け橋も期待できる。理解をさせる点では、スモールステップがあるC者はよいが、練習問題の差も意識して指導することが必要である。A者でよいと思う。

迫田教育長 他に意見はあるか。

深水委員 スタートブックの大きさの違いについては意見があったか。

選定委員 持ち運び性については特に意見は出ていない。

迫田教育長 他に意見はあるか。

委員一同 一意見なし

迫田教育長 それでは採択に移る。算数は学校図書でよいか。

委員一同 一異議なし

迫田教育長 ここで一旦休憩とする。再開は午後1時とする。

— 1時間休憩 —

迫田教育長 それでは再開する。理科について説明を求める。

選定委員 ー 理科の説明 ー

迫田教育長 質問、意見等あればお願いします。

深水委員 A者は、算数とのつながりがよい。他教科との関係、もっと深まっているとさらによい。小さいイラストの形もあるが、ノートの取り方がもう少し詳しくあってもよい。単元の流れは分かりやすい。

小根森委員 流れはシンプルである。根拠をもって説明するのが難しいのが本市の課題であるが、この教科書ではどうか。

選定委員 児童は、既習事項や生活経験に基づいて予想を立てる。この教科書では、気づかせるための「鍵」がたくさんあり、話し合いの活動を通して練り上げて考えを修正し、論を立てていく構成もある。

小根森委員 最後の発表などは、どのあたりをみるとよいか。

選定委員 特に、表にまとめるなどはないが、重視しているのは、対話。子ども同士で伝え合う。B者の5年生では、まとめの部分でいうと、ノートを示して終わっている。

小根森委員 やはり、学んだことを整理して人に伝えるところまでいきたい。

井岡委員 理科の学び方の特異性を教えていく必要がある。生活科から理科に代わったときに、興味を持って、そこに向かう必要がある。A者にその点が見られる。B者では、資料室という巻末の資料がおもしろい。

小根森委員 A者は、人体の写真がきれい。病気のこともよく分かる。

藤井委員 A者は、三次市内の画像がある。なかなか地元の写真が掲載されることはなく、興味関心を高めることができる。授業でも生かしてほしい。

迫田教育長 A者は、観察実験について計画、予想、結果を基に結論とすることを事実と意見を明確に分けて考察する流れとなっている。理科の科学的な思考を育てる上では、系統的な比較・分類、条件制御、類推など学年系統別の確かな考え方の筋道が明確で、科学的な思考力を育てることができる。考え方の鍵が一般化されているものでもある。これをうまく活用することが必要であり、A者は丁寧である。

迫田教育長 他に意見はあるか。

委員一同 一意見なし

迫田教育長 それでは採択に移る。理科は教育出版でよいか。

委員一同 一異議なし

迫田教育長 続いて、生活について説明を求める。

選定委員 ー生活の説明ー

迫田教育長 質問、意見等あればお願いします。

井岡委員 どこもそれぞれ工夫がある。A者では、写真がリアルで、ポイントが絞ってある。アサガオのページでは、種の比較などが発展的でもあり、1年生

の学習ではコンパクトで使いやすい。学校探検もよい。B者のわくわくスイッチもよいが、総合的に見て、A者がよい。

小根森委員 私もA者がよい。導入で町を探検するページに、車椅子の子が出ている。また、安全標識も、子どもに必要なものが入っている。動画もきれいである。下の方では、動くおもちゃに着目し、科学的要素が入っている。中には、遊びで終わってしまうものもあるが、B者では、「どんな動きかな」「ためして工夫しよう」まで、工夫まで示してある。

深水委員 A者の最後の、活動便利帳のまとめがとてもよい。あとはどう使うか。また、二次元コードが豊富である。C者の表紙はいい意味で異色であるが、二次元コードが少なく、余白が目立ってしまう。

藤井委員 最後の「いきもの図鑑」では、実際に目にできない生き物を優しいタッチで表現してある。他者に見やすいものもあるが、A者がよいと考える。

迫田教育長 A者は、伝え合うことをとても意識している。気づきをもとにして、伝え合うことが低学年では大事である。例えば、栽培の単元では、動作や写真など、複数例示されており、使いやすい。子どもたちの学習活動が広がる。A者でよいと考える。

迫田教育長 他に意見はあるか。

委員一同 一意見なし

迫田教育長 それでは採択に移る。生活は東京書籍でよいか。

委員一同 一異議なし

迫田教育長 続いて、音楽について説明を求める。

選定委員 ー 音楽の説明 ー

迫田教育長 質問、意見等あればお願いします。

深水委員 子どもたちが使うタブレットの動作関係上、二次元コードでどちらかが出てどちらが出ないというのはよくないと思う。また、合奏では、A者には自分たちでやってみようというのが少ない。

小根森委員 B者のよいところは、音楽をどうとらえているか。「音楽は人間の命の一部」という表現がある。6年生では「考える・見つける」があり、掘り下げてあり、楽しさを学ぶことができる。

井岡委員 リコーダーの導入では、自分の方に向いていることがとても大切。左利きや抵抗がある児童は、B者の示し方がよい。また、高い音を出すところでは、サミングの指導が分かりやすい。琴の指導も、B者が分かりやすく示されている。

藤井委員 B者がよい。芸術的に伝わることや、見ていて優しい。感じるものが伝わってくる。

迫田教育長 他の委員と同様である。学習指導要領の記載にもある、音の重なりなど、要素や形作っているものを意識して学びに向かわせている。また、フォントが統一されており、児童にとって読みやすい。

迫田教育長 他に意見はあるか。

委員一同 一意見なし

迫田教育長 それでは採択に移る。音楽は教育芸術社でよいか。

委員一同 一異議なし

迫田教育長 続いて、図画工作について説明を求める。

選定委員 一 図画工作の説明 一

迫田教育長 質問、意見等あればお願いします。

深水委員 A者は、整っていてわかりやすい。ただ、A者の二次元コードの先にある作品が、360度回転できるものがない。その他は、A者が優れている。

小根森委員 振り返りに特徴がある。B者では、自分の気持ちを聞く内容が多いが、A者は活動の内容について振り返ることができるものになっている。この点でA者がよい。

井岡委員 振り返りの後に、「あわせて学ぼう」という欄がある。B者にも「つながるまなび」という他教科とのつながりがある。A者では、やってみようというのが具体的に書かれている。B者は、海外の有名な作品が掲載されているものもよい。

藤井委員 A者がよい。1つ1つのコンテンツのダイナミックさやリアルさがどのページでも伺える。単元のめあても明確に分かる。見やすさも含め、まとまっている。

迫田教育長 A者は、ドリームカンパニーなど、社会の現実とうまくつながるものが掲

載されている。

迫田教育長 他に意見はあるか。

委員一同 一意見なし一

迫田教育長 それでは採択に移る。図画工作は開隆堂でよいか。

委員一同 一異議なし一

迫田教育長 続いて、家庭科について説明を求める。

選定委員 一家庭科の説明一

迫田教育長 質問、意見等あればお願いします。

深水委員 授業数と単元数の関係については意見があったか。

選定委員 製作の時間で調整するなど、単元計画をしっかりと立てる必要がある。

深水委員 A者の方がより具体的である。B者では、インターネットの項目などがある。

小根森委員 A者の手順が時系列で左から右へ流れる形で共通的に示してある。また、導入で「なぜ掃除をするのか」など「なぜ」が示され、目的を考えて学習に臨むことができるのがよい。

井岡委員 ミシンの使い方では、児童は下糸を入れるのに戸惑う。その際、B者の方がとても見やすい図である。書き込むのは、A者の方がやりやすい。

藤井委員 小根森委員と同様、時系列で示されており、調理の学習では、もう一回作ってみようという思いになる。児童にとっても分かりやすい。

迫田教育長 情報が入ってきやすい。先生に質問する前に、一目で分かり、活用できる。B者は動画が豊富であり、言葉での説明等もあるが、授業で扱う教科書としてはA者がよい。

迫田教育長 他に意見はあるか。

委員一同 一意見なし一

迫田教育長 それでは採択に移る。家庭科は開隆堂でよいか。

委員一同 一異議なし一

迫田教育長 ここで一旦休憩とする。再開は午後3時とする。

— 10分休憩 —

迫田教育長 それでは再開する。保健について説明を求める。

選定委員 — 保健の説明 —

迫田教育長 質問，意見等あればお願いします。

深水委員 薬物乱用防止のところで比較してもA者がよい。3種類取り上げている上，薬物による弊害などをしっかり示している。また，SNSにも触れている。B者では，一般医薬品の乱用も触れているのはとてもよいが，具体性が欠けている。C者は，合成麻薬も取り上げているが，大麻がない。バランスが取れているのは，A者である。

小根森委員 選定委員の説明のとおり，書くことが多く，友達と話し合ってみようという文言も多い。体のことや社会のことなど，しっかり考える学習が必要である。また，導入の際に，スタートから目標まで，どのように学んでいくかが掲載され，自分の学びを整理できる。B者の良さは具体的なところである。A者はインターネット犯罪などの言及も多い。

井岡委員 A者は，書き込むスペースが十分であり，書く視点も明確である。文字のフォントなども分かりやすい。B者も虫歯など，資料の掲載はよいが，バランスはA者である。

藤井委員 選ぶのが難しい。B者は著名人の掲載があり，児童に響く。A者は，保護者に向けたメッセージが背表紙に掲載されている。保健の学習が家庭にもつながるということを読み取ることができる。

迫田教育長 A者は，ふりかえりは二次元コードでワークシート形式となっている。最後までふりかえりを教科書に書かせる出版社もある。バランスがとれているのは，A者である。

迫田教育長 他に意見はあるか。

委員一同 — 意見なし —

迫田教育長 それでは採択に移る。保健は東京書籍でよいか。

委員一同 — 異議なし —

迫田教育長 続いて，外国語について説明を求める。

選定委員 — 外国語の説明 —

迫田教育長 質問，意見等あればお願いします。

深水委員 A者は書き込みが多く，ワークブックの使い方もできる。ワード集もついている。英語を使うという点でもよい。

小根森委員 私は，5・6年生ではフォニックスが大切であると思う。それがあるのは，B者であり，A者にはない。A者がよいのは，日本語でしっかり考えたことを英語で表すということから，まず日本語での整理が設定されているのがよい。C者は，聞く場面がたくさんある。B者は，二次元コードがあり，歌から入れる。A者は，アニメであり，表情等が読み取れないということもある。

選定委員 A者も，フォニックスを扱う活動が設定されている。

井岡委員 書きやすくされており，他者と学ぶ設定もある。ワード集もあるが，そこまで必要性があるかは気になる。総合的に見て，三次に子どもにあった点ということでは，A者ではないか。

藤井委員 対話は，C者がよい。三次市の実態に合ったという点ではA者の活用がよい。

迫田教育長 A者，C者，B者のよさがある。流れではA者とC者。B者は動画が豊富でスピードが変えられる。英語は，現場でこの教科書だけでなくデジタルコンテンツをいかに活用するか。ネイティブの発音はこのデジタルコンテンツで繰り返し活用することが必要である。本市の児童は，英語は好きだが，もっと活用できるところで使うところまでいきたい。A者は，字幕が出るのがよい。単元のゴールの提示やデジタルコンテンツの活用が期待できる。

迫田教育長 他に意見はあるか。

委員一同 ー意見なしー

迫田教育長 それでは採択に移る。外国語は東京書籍でよいか。

委員一同 ー異議なしー

迫田教育長 続いて，特別な教科道徳について説明を求める。

選定委員 ー特別な教科道徳の説明ー

迫田教育長 質問，意見等あればお願いします。



小根森委員 発問が核心をついていて精選されていることが大切。道徳ノートもあり、A者がよい。

深水委員 B者がよいと思った。後半の話し合いが詳しいが、その一方で、説明にあったように、発問が精選されていることの必要性に賛同する。

井岡委員 道徳ノートで、1年間を通した学びを見ることができる。

藤井委員 道徳ノートが、先生も児童も活用しやすく、A者がよい。

迫田教育長 各委員と同意見である。書くということが、自分の考えを深める。学びの足跡を残す、評価をするという場面でも大切である。発問の捉え方も多様であるが、B者の発問はよく考えられている。年間を通じての学びのつながりや考えをぐっと深めるという点でもA者がよい。

迫田教育長 他に意見はあるか。

委員一同 一意見なし

迫田教育長 それでは採択に移る。道徳は日本文教出版でよいか。

委員一同 一異議なし

迫田教育長 以上で、議案第30号の、令和6年度に三次市内小学校で使用する教科用図書についての採択を終了する。

それでは、採択結果の確認を事務局にお願いする。

教育委員会事務局付課長 (採択の確認)

国語	光村図書
書写	光村図書
社会	東京書籍
地 図	帝国書院
算 数	学校図書
理 科	教育出版
生 活	東京書籍
音 楽	教育芸術社
図画工作	開隆堂
家庭科	開隆堂
保 健	東京書籍

外国語 東京書籍  
道徳 日本文教出版  
以上

迫田教育長 それでは、選定委員は退出をお願いします。

—選定委員退室—

迫田教育長 それでは、傍聴人は退出をお願いします。

—傍聴人退室—

迫田教育長 これをもって本日の会議を終了する。